



けやきだより

No. 34

発行者:社会福祉法人みらい

◇日中活動事業

- ・社会就労センターけやき
- ・第2けやき
- ・第3けやき
- ・けやきカレッジ
- ・けやき可児
- ・第4けやき(多機能型:放デイUライフ平和併設)

◇放課後等デイサービス、児童発達支援事業

移動支援事業

- ・サポートセンター Uライフ平井

◇共同生活援助事業(グループホーム)

- ・生活支援センターCSポート
- 「ぶなホーム1,2,3,4」「にれホーム1,2」
- 「ならホーム」「とちの木ホーム」

◇相談支援事業

- ・リンク

◇企業主導型保育事業

- ・かえで保育所

法人の現状と中長期計画

(社福)みらい理事長 柴田勇夫

平成31年4月1日をもつて17年目を迎えます。平成15年4月のけやき開所時は二法人一事業所で利用者30名でしたが現在157名となり、職員も15名から法人全体の職員数が134名となりました。事業所も10事業所とGH8カ所となり、収入も当初七千万円弱から30年度は5億5千万円となりました。

開所以来、けやきを利用したい、グループホームに入りたい、放課後デイサービスを利用したい、カレッジを利用して企業就労をしたい、リンクの相談を使いたいなど、障がい本人や保護者の数々の要望に応えて利用者数や事業規模は5～8倍くらいになりました。

法人創設以来ほとんどの要望を受け入れてきましたが、今年度以降それらの要望を全て受け入れることが困難な状況となつてきました。

次頁の法人の「中長期計画」による5年10年後の展望では、設立以来の理念である「どんな障がいのある人も地域で生活できるように」を具体化した「利用者の成長と将来の生活に責任を持つ」という言葉で今後の運営を進めていきたいと考えています。またこれを達成するために、「多様化する利用者への対応」に取り組み、「持続可能な法人運営」へと進んでいきます。

利用者の成長と将来の生活を担保するために「相談支援」「意思決定支援」「個別支援計画」を

三本柱に支援をしていくとしています。

多様化する利用者への対応

1. 利用者支援のあり方：前述の三本柱と「現在の安定より将来の生活を考える」をコンセプトに進めていきたいと考えます。

2. 住まいの整備・重度・高齢・集団が苦手・自立度の高い人など全ての方への個別な対応を考慮する必要があります。

3. けやき利用希望者の継続的増への対応：「事業規模予測」と「利用者数予測」にあるように、日中活動事業では第2けやきの生活介護、けやき可児の就労支援事業、カレッジの就労移行事業を除いては利用者の受け入れが難しい状況となりました。Uライフの放課後等デイサービスはUライフ平和10名、平井10名プラス重心5名での現状継続とします。GH事業は新たな設置をして行くとしてますが、職員の採用と建設資金の裏付けが必須条件です。但し状況の変化によつての計画変更はあり得ると考えます。

持続可能な法人運営では、非常に重要な課題が多くありますが、

1. 事業体制 ①財務体质の強化・利益の出る経営、将来の事業展開のため積立金の増
 2. 人材確保・育成・人手不足の中で魅力ある事業所へ育成による支援力の向上
 3. 総務・人事部門の整備・職員のワークライフバランスを考慮
 4. 法令遵守・職員の倫理観、社福の法令遵守
- 令和元年を期し、当法人として中長期計画を示し、5年10年だけではなく永続的な運営を可能にするための指針としたいと考えます。

利用者支援のあり方		
個別支援計画書	事業所での個別支援計画	モニタリングを通じて定期的に見直し
サービス等利用計画	相談支援事業所	本人のライフプランを作る
日中活動支援	生きる力を付ける	働く意義を認識、社会と繋がる 社会性を養う、施設外作業
	意思決定支援	基本的人権 楽しく生きる、ベストインタレスト 意思の表出支援、意思の気づき力は?
生活支援	将来の生活を見据えた支援	現在の安定より将来の生活を考える
	ADL(日常生活動作)の確立	一人でできることを増やす、自己実現
	生活の全てを支援	仕事以外(余暇・生活支援)を?

社会福祉法人みらい 中長期計画

法人理念: どんな障がいのある人も、地域で生活できるように

**“利用者の成長と
将来の生活”
に責任を持つ**

多様化する利用者への対応

持続可能な法人運営

住まいの整備		
重度 高齢障がい者	24時間介護ケア付きGH	建設資金、補助金、土地
一定の支援が必要な方	CSポート(小集団)で支援	新築(資金、土地)、改修、賃貸
集団生活が苦手な方	CSポート(個人、一人部屋)で支援	新築(資金、土地)、改修、賃貸
自立度の高い方	ヘルパー(自前・外部)委託ホームで支援	賃貸、改修
自立、結婚等考えている人	アパート等一人暮らし・法人の直接支援なし	賃貸、新築、改修
親との同居生活の継続	ヘルパー(自前・外部)委託	親の死後: 独居、GHか?
地域生活困難な方	入所施設への入居	入所施設との契約
…職員確保、建設資金の確保(補助金、自己資金、寄付など)は必須…		

```

graph TD
    A["利用者の成長と将来の生活に責任を持つ"] --> B["多様化する利用者への対応"]
    A --> C["持続可能な法人運営"]
    B --> D["相談支援"]
    B --> E["意思決定支援"]
    B --> F["個別支援計画"]
    D --> G["住まいの整備"]
    E --> H["事業体制"]
    F --> I["地域の理解"]
    G --> J["利用者支援"]
    H --> K["所得保障"]
    I --> L["職員のワークライフバランス"]
    J --> M["保護者会"]
    K --> N["社会福祉法人みらい"]
    L --> O["保護者会"]
    M --> N
    N --> O
  
```

△けやき利用希望者の継続的増への対応		
事業所名	現状での許容定員	方策・課題
けやき	・定員はほぼ一杯	・カレッジ・可児・第3等へ異動し、空き分を受け入れる
第2けやき	・20名定員まで1~2名受入可	・重度障がい者をどこまで受け入れるのか? ・30名定員まで増員可
第3けやき	・20名定員、事業体制の変更	・20名定員継続 ・B型と生活介護事業に再編
第4けやき	・31年度多機能型で新設 (多機能型) ・契約者数増2~3名可	・生活介護20名定員継続 ・Uライフ平和(中高生受入10名定員)
カレッジ	・毎年8~10名の受入・就職の循環	・現状で継続、就職受入個所の多様化 ・定着支援事業の安定運営
けやき可児	・5年後45名定員計画進行	・5年後以降どうするか、第2可児の検討? ・事業体制の変更検討
事業の継続的遂行には毎年3~5名の利用者純増必要		

事業規模予測

職員は少なくとも配置基準にあつた配置とする

年	2019	2021	2023	2025	2027	2029
日中活動事業所	6事業所	7事業所	7事業所	7事業所	7事業所	7事業所
日中利用者数(年)	168名	178名	190名	204名	208名	208名
GH利用者数(年)	49名	61名	68名	75名	81名	81名
Uライフ(年)	10+10=20名(重心)	10+10=20名	10+10=20名	10+10=20名	10+10=20名	10+10=20名
リンク事業所	2事業所	2事業所	2事業所	2事業所	2事業所	2事業所
新規事業		ヘルパーステーション	ショートステイ	居宅介護		

持続可能な法人運営		
1. 事業体制		
1)財務体質の強化		
・収益増を目指す…収入増、経費削減、積立金増 ・人件費率の削減…職員配置の効率化		
2)人材確保・育成		
・人材のワークライフバランス…人事・給与制度、労働時間、福利厚生など ・法人・職員組織体制の見直し		
4)コンプライアンス(法令遵守)…対外的、法人内		
2. 地域の理解・交流		
)地方自治体、事業所設置地域等の理解 協力		
2)一般住民の理解、協力…ボランティア、共生(地域生活支援拠点整備など)		

利用者数予測									
状況によっては変更もあります									
利用者数	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026
けやき	48	49	-	-	-	-	-	-	-
第2けやき	37	19	20	21	22	23	25	27	28
第3けやき	25	27	27	-	-	-	-	-	-
第4(多機能)	-	19	19	20	21	22	-	-	-
カレッジ	20	18	19	19	19	19	20	-	-
就職者(年度末)	10	10	8	8	8	8	6	6	6
可児 第2可児	22	26	29	32	35	38	41	45	51
小計(年初)	153	158	163	168	173	178	184	190	197
CS (一人暮)	35(2)	38(3)	43(6)	-	53(8)	58(10)	-	63(12)	68(13)
Uライフ	20+5	10+10+5	-	-	-	-	-	10+10+5	5

事業体制		
財務体質の強化		
収支差額増を目指す	利用者増、交付金の単価高い事業、就労支援事業の売上増、経費削減、積立金増	指す
人件費率の削減	職員配置の効率化、職員能力アップ	
人材確保・育成	職員採用	優秀な人材の確保(計画的採用)、他業者開拓
	育成	研修制度の充実、スキルアップ(支援力、管理能力など)
労務管理		厚労省の働き方改革 人事・給与制度、労働時間、福利厚生など 組織体制の見直し
法令遵守	社会福祉法人としての責務	職員の倫理規範、社福としての法令遵守

多様化する利用者への対応									
1. 利用者支援の在り方									
2. 住まいの整備…重度 高齢・集団が苦手 自立度高い人など全て									
3. けやき利用希望者の継続的増への対応									
4. 障がい者本人の高齢・重度化									
5. 障がい児への対応									
6. 相談支援事業									
7. 所得保障…工賃アップ、就労支援事業の拡充、一般就労									

★祝 ☆新成人 ☆みんなでお祝い ☆お母さんも感激です

平成31年2月10日(日)に新成人を祝う会を開催しました。

この会は毎年恒例で、けやき、けやき保護者会、多治見地区手をつなぐ親の会の三者共催で行っています。

お母さんと一緒にみんなの前でいさつ、立派に成長したよ！！



今年は法人内の該当者7名のうち6名の方が参加されました。

式は当法人理事長の祝辞から始まり、新成人の方達が日中活動で作業している姿や、活動している様子を動画で紹介があり、そこで担当の職員

からビデオレターで彼らの仕事ぶりや頑張っている姿の話がありました。

続いて、卒業した特別支援学校の先生から

のビデオレターや出席頂いた先生から、学校の頃の話や激励の挨拶がありました。

その後、上の写真のようにお母さんから小さい頃の苦労話などの話の後、みんなの前で成人になつた決意表明がありました。

「カレッジで勉強して、一般就労がしたいです！」「仕事を頑張って、たくさんお金が欲しいです！」「お母さん育てくれてありがとうございます！」

みんなで楽しく踊ったよ！



先輩からお祝いの花束贈呈！



など、しっかりと挨拶できる姿にお母さんたちも感激でした。

けやきの先輩から花束贈呈の後、食事パ

ーティーが行われ、オードブルや飲み物を食べながら、みんなとの親睦を図りました。

最後は、大野弦君と友人との2名による演奏と、いつもお世話になつて

いる「飛燕多治見」の皆さんと一緒に歌と踊りで大変盛り上がり、新成人を祝う会は終了しました。

新成人になつた人やお母さんたちから「たくさんの人にお祝いして頂き、素敵なお祝いありがとうございました」という話を頂きました。新成人になつた皆さんの今後の成長と活躍に期待します。

平成31年度 入社式及び事業説明会 開催

平成31年4月1日（月）に「入社式及び事業説明会」を行いました。

法人理事長挨拶



入社式ではまず最初に当法人理事長から挨拶と現状説明がありました。

今年度は月曜日開催

であり、保護者の方も働いて見える方

が多く、また職員・利用者も仕事で抜けられなく、参加者は135名位でした。

今年度新たに契約をした利用者の方は東濃・

可茂特支・阿木高校からの18名ですが、30年度では途中新規契約の方1名あり、また亡くなられた方が1名、カレッジから12名の方が就職され、契約解除の方2名で15名の方が卒業や契約解除となつており、今年度は4名の利用者純増となっています。

職員数では、新卒1名を含め正職契約職員6名、パートさんとして障がいの方2名を含めて計9名の方を採用しましたが、退職された方も多くなっています。

新規利用者の方に辞令交付



く現状では若干名の職員不足状況であることなどです。

あと中長期計画の簡単な説明があり、この後、新規利用者の方と新規職員の方への辞



辞令交付後、新規利用者の方18名整列

新規利用者の決意表明



新規採用職員の決意表明

令交付と、それの代表者の方から決意表明がありました。

「学校卒業したばかりで分からなすことばかりですけど、これから勉強して皆さんに頼られる職員になりたいです」「けやきで仕事を早く覚えて、一人前の社会人になりたいです」などの頼もしい言葉が聞かれました。

最後に事業説明会があり、早瀬（旧姓上野）常務理事（3月の理事会で常務理事に就任）から各事業所の代表者を交えて、第3けやき、第4けやきなどの新体制での事業運営の説明がありました。

いずれにしても、新規利用者、新規採用職員にとつては社会人としての「けじめ」をつける機会として、法人としては当法人の現状や将来の方針を皆さんに知つてもらう貴重な機会として今後も継続実施をしていきたいと考えておりますので、今後ともよろしくお願い致します。

第4けやき事業開始、及びUライフ事業分割運営開始

て、再申請しました。

4月から実施されています

が、少人数での細やかな対応

ができるようになります

なり、順調に推移していると感じています

平成30年3月に28年度から厚労省に提出していた「第2けやき増設工事」の国庫補助事業の協議申請書が、2年越しで29年度の補正予算での認可が下りました。

7月に建設工事の入札を行い、工事費3753万円(国庫補助金2000万円、旧プレイルーム改裝、2階物品倉庫改裝、追加床暖房設置等)で飯田建設が8月から工事を行い、11月末に完成しました。

当初第2けやき増設工事の定員30名を10名増員の40名にするということで、第2けやき西側のプレイルーム南側に増設として申請していました

心を幼児児童と一緒に見るという体制に変更し、旧UライフはUライフ平井として主に幼児児童の10名と重心5名の事業所となり、第4けやきを多機能型事業所としてUライフ平和を併設し、主に中高生の10名の事業所として運営を始めました。

これは、以前からUライフの放課後等デイサービス事業では幼児から中高生までの年齢層の幅のある中での20人定員規模、そこに重度心身障害児5名を一緒に施設で運営することによるトラブルが発生していました。

即ち、幼児と高校生の利用児同士のトラブルや利用児と職員の事故などもあり、この解消は必須事項となつており、今回の増設時に一気に10名ずつの2つの事業所に分け、この解消を図るよう実施しました。



事業とし
介護20名
の単独創設
事業とし



第4けやき新築建屋

ここに、U
ライフの放課
後等デイサー
ビス事業の2
0名定員を主
に幼児児童と
中高生の10
名ずつの2カ
所に分け、重
心を幼児児

童と一緒に見るという体制に変更し、旧UライフはUライフ平井として主に幼児児童の10名と重心5名の事業所となり、第4けやきを多機能型事業所としてUライフ平和を併設し、主に中高生の10名の事業所として運営を始めました。



Uライフ平和でおにぎり作り



第4けやき作業風景

では、第2けやきの38名の利用者さんの相性、支援の困難さ、支援や作業のあり方などを考慮して19名ずつに分けました。今後、第4けやきの契約者数では3~4名の方の増員が出来ると思いまし、第2けやきでは30名までの増員が可能になっています。また将来は、第3けやきの数名の生活介護の方を含めて、けやきの生活介護全体での各事業所の定員バランスを考えていく必要があると感じています。

生活介護事業では、第2けやきや第3けやきの生活介護全体での各事業所の定員バランスを考えていく必要があると感じています。

法人・保護者協議会概要

けやき保護者会 田原勇

平成30年11月10日第2回法人・保護者協議会がけやき第2作業場で開催されました。

この協議会は保護者の意見、要望、心配事等に法人からの回答、法人からは運営方針、保護者のるべき姿(任せっぱなしにしない)等、法人と保護者が気さくに話しあえる場を設け、利用者の将来が法人の理念である『どんな障がいある人も、地域の中で生活する』を目標にお互いの理解を深め、利用者の将来が安心出来る場であるように法人と保護者が意見交換する場所にしたく思います。またこの会は、保護者会の主催で行っております。

第2回の法人・保護者協議会の実績報告書は以前に提出されておりますが、

質問、要望として Q1:職員さんの退職・異動が多い、今後はどうなるのか?

A1:退職理由(結婚退職3割、給料安い、仕事が合わない、その他)は色々ですが、新たな採用が困難。働きやすい職場作りが重要。利用者は純増で年3~5名に抑える。

Q2:GHにいろんな障がいの方の受け入れを検討してほしい

A2:去年4名が新たに入居。今後一人暮らしに3名移行予定。その空スペースに補充可。職員の採用が一番の課題。重度・医療行為必要な方は今後の課題です。

けやき発足当時は利用者も30人位で年に3回位夜けやきの食堂に集まって、法人、保護者の集まりがあり意見交換して来ましたが、今は170名の利用者が在籍し全体での意見交換も困難な状態です。しかし子供達の将来を安心して法人に任せる為には法人、保護者の意見交換は必要不可欠のものです。

今年も11月9日(土)に第3回法人・保護者協議会を開催いたしますがそのスケジュールは概ね以下の予定です。

保護者会としては特別活動委員会を立ち上げて法人・保護者協議会を開催いたします。

8月中旬 協議会役員選出…第2回の役員を中心に広く役員を募集しますが、月曜日午後開催される役員会に出席できる方を優先します。

8月下旬~10月中旬 第1~3回役員会開催…意見・要望等をとりまとめ、回答を依頼

回答内容チェック、会議出席者を決め出席依頼

11月9日 会議の内容 全体会議…提出してある意見・要望についての回答の詳細説明

当日出た質問・要望による意見交換、

事業所別会議…昼食をとりながら、各事業所ごとに小さいグループで気さくに話をする

上記記載の質問・要望や他にもいろんな疑問、心配事などを法人にぶつけて、全ての疑問が解消出来ないと思

いますが、ざくばらんな話し合いが出来ると思いますので、多くの保護者の参加を期待しています。

会議の様子



かえで保育所

お別れ遠足に行つたよ！

平成31年3月20日(水)お別れ遠足が行われました。

4月から少しづつ距離を伸ばしてたくさん散歩を経験し、長い距離を歩けるようになつた子どもたちとの思い出にと計画しました。

かえで保育所において遠足は初めての試みで、場所は散歩でも行ったことがある小泉公園にしました。当日は、遠足を楽しみにしていた子どもたちの願いが届き晴天となりました。

お揃いのリュックを背負つて、



お弁当の時間となり、シートを広げ、「いただきます」と同時にお弁当箱のふたを開けると子どもたち

いざ出発。友達や職員と手をつなぎ歌を歌つたり、おしゃべりをして公園では、ローラー滑り台や大きなトンネルで遊ぶ子や友達と一緒にかけっこをする子、職員と公園内を探索する子と一人一人楽しむ姿が見られました。



岐阜県共同募金会様より、アクラの助成をして頂きました。
社会福祉法人岐阜県共同募金会様より車両・アクラの助成を受けました！

社会福祉法人みらいとして設立させて頂いてからはや16年が経過し、数々の車両のメンテナンスが行われてきましたが、やはり老朽化は逃れられない状況です。助成を頂いた事でより安全な車に乗り換える事ができました。



ちの目も輝き、嬉しそうに食べてみました。

戸外で食べるお弁当は、一段と美味しかったと思います。

暖かい日差しの中、子どもたちのたくさんの笑顔が見られ、楽しい遠足となりました

太田 雅美

ありがとうございました。

アクラはこれから送迎、納品など多方面に活用させて頂きます。また、他の車両共に、常に安全を心掛けて走行して行きたいと考えております。

今回助成していただいた岐阜県共同募金会様には大変感謝しております。

新規利用者の紹介

これから自分

岡本 光真

これからにがてな作業ができるようになります。クローバーのこよりを毎日頑張っています。将来の夢は、ライブのスタッフになりたいです。私はコミュニケーションができるようにしたいです。

けやきカレッジに入つて

上川 亜美

がたち、できるようになったことが増えてきました。同じ作業を続ける、報告、あいさつができるようになりました。私は、介護で働きたいので挨拶や笑顔、コミュニケーションがとれるよう頑張りました。

けやきカレッジに入つてがんばりたいこと

橋本 裕晃

僕は、カレッジに入つて自分をかえることをけついいし、このカレッジに入りました。カレッジでがんばりたいことは、自分の苦手の

カレッジで頑張りたい事

松井 里紗

カレッジに入つて頑張りたいことは、自分に合った職業に就けるよう毎日の作業と実習を真剣に取り組む事と、苦手なことを出来るようにしたいです。後は、自分に自身を持って、目標を達成できるように頑張りたいです。

自分の将来について

末松 利哉

私は未だ今後の将来が決まっていません。そこで今回けやきカレッジに入所して、自分の未来図を広げていけるようにしたいと思うので、けやきカレッジにいる間は自分に合っている職業を見つけて就職していきたいです。

自分の未来へ

別府 拓洋

僕はけやきカレッジでクローバーの作業や講座などがんばっています。私の夢はろうじんホームではたらきたいです。そのために自分のかせや悪いことなどをけやき

自分の将来の夢

水野 杏南

私は手先が器用なので細かい作業など手先を使った仕事がしたいのでそのためにけやきカレッジでスピードと正確にやることを意識して作業をしています。スピードを早くするのが苦手なのでそれを克服したいです。

けやきに入つて

竹内 隆也

今年から、第1けやきで働かせてもらっている竹内隆也の母です。朝は私が送つていきますが、夕方は一人で歩いて帰つて来ます。毎日、元気で楽しそうに通つています。今のところ、毎日の生活リズムができて安定しているので、私も安心しています。これからもうろくおねがいします。

令和最初のカレッジ利用者

平野 輝弥

時代が変わる中、自分も新しい事に挑戦しつつ、自分の得意分野と将来の夢を2年以内で見つけて自分の未来像を作るという新しい目標を立てていけるように頑張ります。

けやきに入つて

平田 賀奈永

3月18日からけやき可児に入りました。サブコン班で部品入れやお弁当配達、電球点灯試験などをやっています。おいしいお昼ご飯や、仲良しの仲間とおしゃべりすることが毎日楽しみです。これらも仕事をがんばるので、みなさ

けやきに入つて

加納 崇登

3月半ばからけやきに行つています。はじめは縫製班で今は直販でクッキーを作つています。クッキーを包むのは大変ですが、クッキーを丸めるのは楽しいです。早く慣れて正確に早く作業できるよう

けやきに入つて

武田 夢子

今春高校を卒業して、けやき可児を利用しています。私は、調理班でお昼の給食の提供とお弁当の盛

ことやできることを自分で見つけで、いい会社に入りたいからです。

カレッジでがんばっていきたいです。カレッジでがんばっていきたいで

になります。

り付けを担当しています。早く仕事を覚えて、いろんな作業にチャレンジしたいです。

けやきに入つて

原 啓輔

ぼくは、けやき可児で毎日はいたつの仕事をしています。いろいろな場所へ行けて楽しいです。できることがふえるように、どんなことでもがんばりたいです。みなさん、よろしくおねがいします。

けやきに入つて

高内 涼太郎

4月から、けやきのちようりはになりました。がんばっているおしごとは、つけもののもりつけです。たのしいおしごとはおにくをもりつけているときです。いつかはおさらあらいができるようになります。

けやきに入つて

加藤 創真

4月1日からガラリと生活リズムが変わりましたが、上手に切り替えができていて、とても安定した気持ちで、笑顔も多く張り切った様子で毎日をスタートできています。

このままの調子で、日々を愉しく通えるといいです。

けやきに入つて

成瀬 愛美

わたしは、けやき可児でサブコンはんで、ふくろにぶひんをいれたり、シーラーをしています。こんごは6こいれのさぎようもとりもして、すごしたいです。みなさんよろしくおねがいします。

す。よろしくお願ひいたします。

第4けやき・Jライフ平和

今瀬 摩美

みなさん、初めまして。この度Jライフ平和に配属になった今瀬摩美です。私は、利用者の方一人一人に信頼される職員になります。まだまだ分からぬことが多い、ご迷惑をかけると思いますが、笑顔いっぱいの支援員を目指しています。これから、よろしくお願ひします。

CSポート

井戸 孝

11月からCSポートで働かせて頂いております、福田有紀子と申します。利用者さん一人一人に寄り添い、信頼される支援員になれるよう努力していきたいと思っております。よろしくお願ひ致します。

CSポート

福田 有紀子

11月からCSポートで働かせて頂いております、福田有紀子と申します。利用者さん一人一人に寄り添い、信頼される支援員になれるよう努力していきたいと思っております。よろしくお願ひ致します。

けやきに入つて

田中 敏江

昨年12月より、けやきクリーニング班でお世話になつております田中敏江(よしえ)と申します。至らない点も多いかと思いますが、利用者さんから信頼される支援員になれるよう一生懸命頑張つて参りますので、どうぞ宜しくお願ひ致します。

けやき

けやきに入つて

柏原 沙妃

第2けやき

伊佐次 恵美

原岡 梢

11月からCSポートで働かせて頂いております、原岡有紀子と申します。お世話になつております井戸と申します。グループホームでの支援職員として、拝命させていただくことになります。グループホームでの支援職員として、拝命させていただくことになります。利用者の成長と将来の生活に責任を持つとの法人の方針を胸に誠心誠意力を尽くして支援させていただきますので、今後ともよろしくお願ひ致します。

私は、この春から、けやき可児でおせわになっています。お仕事をたくさんおぼえて、できることをふやしたいです。がんばりますのによろしくおねがいします。

けやき

この度、4月より皆さんと一緒に働くことになりました原岡です。利用者の皆さんが社会生活で自立するための支援して行きたいと思っておりますので、ご指導よろしくお願ひ致します。



田根陽子さんのお別れ会



在りし日の田根さん（写真中央：旅行にて）

1月13日に田根陽子さんのお別れ会が行われました。それは突然のことでしたが、昨年12月1日に田根陽子さんが帰らぬ人となりました。11月30日に体調不良でけやきをお休みした後に体調が急変したことでした。私を含めすべての人たちが、なぜ？と感じるほど急なことで心の整理がつかない状況が続きましたが、ご家族が明るく陽子さんを送る会を催したいとの思いからお別れ会を行う事となりました。小泉公民館で催されたお別れ会に

は、生前の陽子さんが関わったグループが揃って出演し、フェアリーミュージシャンによるハンドベルの演奏やザ・スターズによるダンス、みらいの音楽隊の歌などが披露され、まさに明るくにぎやかな送る会となりました。

会場には、幼少期から撮り貯めた陽子さんの写真や、得意としていた縫製の制作物、幼い頃からこれまで描いた絵や文など、これまでのたくさん思い出が所狭しと展示され、ご家族の陽子さんや周りの方への思いが詰まった温かい空間となりました。けやきからも利用者や保護者、職員を合わせて多くの方が参加し、会場は溢れんばかりの人でいっぱいでした。



加藤高志

けやきへご寄付等戴いた方たちのご紹介（2019年4月現在、順不同）

※敬称は省略させて頂きます

*** 寄付金等を戴いた方 ***

根本医院・三島吾朗 田根 繁己

*** 物品のご寄付を戴いた方 ***

安藤信眞 ・・・ 冷蔵庫、電子レンジ、洗濯機

*** ボランティア活動を戴いた方 ***

水野加代 大嶽肇 笠瀬美里 林冬美



編集後記

新年度となつた4月1日、法人では入社式も終わり、会場の片付けをしながらひと段落といった時間に、日本中が固唾をのんで注目した新たな元号の発表がありました。事業所に戻ると、「令和だね」と声をかけられましたが、？マークの私の顔を見て、自分のスマートフォンを取り出して詳しく説明をしてくれた利用者さんもみました。

新たな時代への期待とともに新規事業所の第4けやき・Uライフ平和もスタートを切りましたが、開所から1ヶ月が経過し、職員と利用者さんも普段の落ち着きを取り戻しつつあります。これからじっくり腰を据えて、利用者さんにとってより良い支援に取り組んでいきたいと思います。

さて最後になりますが、来たる5月25日（土）に、「第3回けやき可児春祭り」をけやき可児にて開催致します。保護者会の屋台や、利用者さん渾身のクッキーや縫製品、お子様も楽しめるゲームなど準備しておりますので、お近くの方などお誘いのうえ、ご来場いただることを心よりお待ちしております。